

## 令和３年度 全国学力・学習状況調査の結果と解釈

５月２７日（木）に行われた全国学力・学習状況調査の、本校の状況がわかりました。この調査は３年生が対象で、今年度は国語、数学、生徒質問紙（学習や生活について尋ねるもの）の実施です。

昨年度はコロナによる一斉臨時休校があったため全国の学校で授業時数の確保が難しくなり、この調査も数時間を要することから調査は延期ともならず中止となりましたが、本年度、時期を例年の４月中旬から５月下旬に遅らせることにより、昨年度の影響を少しでも小さくなるようにして実施されました。

一昨年度のこのレポートでは、実施日が修学旅行後の代休日の翌日という悪条件もあり、国語が「それぞれの問いで全国平均を下回っています」、数学が「概ね全国平均を下回っています」となっていましたが、本年度は、概ね全国平均で、問いによっては全国をやや上回っていたり、やや下回っていたりしています。詳しくは右や下の欄をご覧ください。

学習指導要領に示された授業の内容や方法も、それにより資質・能力が身に付いているかどうかを確かめるこの調査の内容も、ともに社会生活で役立つ力を生徒により確かに身に付けることを目指しています。各教科等の勉強は、テストや通知票の点を上げることや進路を決めることは確かに「途中のゴール」ではありますが、最終目的とは思わないようにし、大人になってから自分の活躍の場を広げるために今勉強しているのだと捉えてほしいところです。

３年生の皆さんは、例えば「これは成績には入りませんが」と先生がことわった上で始める勉強にも興味をもって頑張る姿を見せるなど、自分の知的好奇心が動機となって勉強しているところがとても素敵です。一方、全国と比べて、家で教科学習、読書、新聞に触れている時間が短く、スマホ・ケータイ、ゲームに触れている時間が長いといった結果が出ています。

せっかく分かった・できたことも、家で復習したり関連付けたり発展的なことにつなげたりしないと頭からはがれやすく、今以上の伸びが期待できません。家でも学校でと同じように学びに向かう時間がもっと必要ようです。

※以降、◎、○、◇、△、▲ で全国や京都府の平均との比較を表しています。

## 国語

### 結果

指導の領域別に見ると、「読むこと」が全国や京都府の平均を少し上回っており、「話すこと・聞くこと」が同程度、「書くこと」と「語彙」などの知識がやや下回っています。問いごとには次のとおりです（設題順）。

○話し合いの流れの中でのある発言の役割を捉えられているかを確かめる問い

◇話し合いの中のある発言の意図を捉えられているかを確かめる問い

△話し合いの流れに沿い自分も質問するとよいと分かり、その内容を答える問い

△文脈から、どんな視点で推敲するとよいかが分かっているかを確かめる問い

○文章の構成の工夫を読み取り、説明する問い

○文脈の中である語句がどんな様子を表しているのか想像できるかを確かめる問い

◇場面や登場人物の様子を想像しながら読んでいるかを確かめる問い

△登場人物の言動の意味を理解しているかを確かめる問い

◇文章に表された見方・考え方を読み取り、それについて自分の考えをもっているかを確かめる問い

○漢字「伸ばす」を正しく読めているか ◇漢字「詳細」を正しく読めているか

△語句「随時」の意味を選ぶ問い

△「行く」を場面から考えて謙譲語に直し、それが謙譲語だと分かるかの問い

△必要な事柄が伝わるようにメールの文章を書けるかを確かめる問い

### 今後の指導

・文章を読むねらいが「心情の想像」がゴールにならないよう、たとえ文学的文章であっても「言葉の力を付ける」ための時間であることを再認識し、授業での問いや課題を設定します。

・授業中、概ね生徒は示された課題に取り組んでいますが、その時、言葉の力を伸ばすためのポイントを明確にして取り組めるよう、課題を示す段階や、途中の軌道修正での「気づき」を促す働きかけを的確に行うようにします。

・この調査の内容は、問いの数こそ少ないですが、国語の授業で身に付けてほしい全ての要素を問うており、「その時 力を入れて指導していること」に集中しているだけでは、生徒が思い出しにくい・発揮しにくい力もありますから、「しばらく～をしていなかったな」といった、過去に学習した内容も折をみて復習するようにし、確実に定着したり、発揮することに慣れられるようにします。

## 数学

### 結果

指導の領域別に見ると、「図形」がやや、「資料の活用」がかなり、全国や京都府の平均を上回っており、「数と式」と「関数」がやや下回っています。力の種類から見ると、「数学的な技能」と「数量や図形などについての知識・理解」がかなり上回っており、「数学的な見方や考え方」がやや下回っています。問いごとには次のとおりです（設題順）。

- ◎（ ）のある多項式の計算が正しくできるか確かめる問い
- 文章で与えられた情報から一次方程式を立てられるか確かめる問い
- ◎扇形の中心角と、この長さと同周の関係を理解しているかを確かめる問い
- △2つの具体的な数量関係を「～は…の関数である」と言葉で表現する問い
- ◎与えられたデータの中央値を求められるか確かめる問い
- △数的な出来事を解釈し法則がないか仮説を立てそれを式で表す問い
- △さらに対話も経て仮説だった法則を一般化できるよう式を用いて説明する問い
- ▲さらに対話を経て式の意味を踏まえ異なる条件で成り立つことを説明する問い
- ◇与えられた表やグラフから必要な情報を読み取れるか確かめる問い
- ◇数学的な推論に基づき課題を解決する筋道を言葉で説明できるか確かめる問い
- ◇ヒストグラムからある階級の度数を読み取れるかを確かめる問い
- ◎分布を比較するために相対度数を用いる理由を理解しているか確かめる問い
- 2つの度数分布からつくった度数分布多角形がある主張にとってどのような根拠となっているのか言葉で説明できるかを確かめる問い
- 与えられた図形が平行四辺形だと言える条件を正しく選べるか確かめる問い
- ◎錯覚が等しくなるための2直線の位置関係を平行を表す記号で答える問い
- △四角形の内角の和が $360^\circ$ であることを前提に2つの角度の関係を見出す問い

### 今後の指導

- ・式の意味や考え方が分かっていることが大切なので、現実の場面とつながりのある課題で式を立てたり、自分で概念を用いて数や図形の出来事を説明したり、課題解決の筋道を立てて表明したりする言語活動を充実させます。
- ・これまでもねばり強さの必要な課題に取り組んでもらってきましたが、基礎・基本を大切にしながら、いっそう試行錯誤が必要で、答えや合理的な手順を見つけるのに努力を要するような課題も用意するようにします。

## 生徒質問紙

生活や学習習慣についての調査で、様々な課題が明確になりました。

### 全国・京都府の平均と比べて望ましい結果だった項目

- ◎学校に行くのは楽しいか
- 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあるか
- 2年生のとき、話し合う学習活動で内容を理解して他者の考えを聞き受け止めて自分の考えを伝えたか
- 2年生のときの授業は、自分に合った教え方、教材、時間になっていたか
- 数学の勉強が好きか

### 全国・京都府の平均から、改善の余地があると思われる項目

- △毎日、同じくらいの時刻に寝ているか
- ▲平日にゲーム（コンピュータ、スマホ）をする時間
- ▲自分でやると決めたことはやり遂げるようにしているか
- ▲難しいことでも失敗を恐れないで挑戦しているか
- ▲家で自分で計画を立てて勉強をしているか（予習や復習を含む）
- △授業以外に平日、どれくらいの時間勉強するか（塾、家庭教師、オンライン含む）
- ▲休日に、どれくらいの時間勉強するか（塾、家庭教師、オンライン含む）
- ▲平日、どれくらいの時間、読書をするか（教科書、参考書、漫画、雑誌を除く）
- △新聞を読んでいるか（※全国的にも低い数値となっています。）
- △友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞いているか
- △学習内容で分かった・分からなかった点を見直して次の学習につなげているか
- △学校でコンピュータ等の機器を意見交換や調べることにどの程度使っているか
- △総合的な学習の時間で自分で課題を立てて情報を集め整理し発表したか
- △コロナ休校中、計画的に学習を続けることができたか
- △コロナ休校中、規則正しい生活を送っていたか

### 今後の指導

- ・「学校に行くのは楽しい」が目立って高かったのはうれしいことです。
- ・△のうち、総合的な学習の時間やICT機器の活用については学校での指導を改善します。その他の項目についても折々お話はしますが、14, 15歳へと大きくなればたといえまだまだご家庭での働きかけがお子さんにとっていちばんの心の栄養となりますので、今後ともご指導どうぞよろしくお願いいたします。